

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	山都町役場		代表者名	山都町長 梅田 穰	
担当者部署	福祉課		連絡先電話番号	0967-72-1214	
担当者役職	主査	担当者氏名	井場 奈央	連絡先E-mail	
住所	861-3592 熊本県山都町浜町6番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	初回ということで、当町の概要や派遣依頼に至った経緯、町の課題等をご紹介した後、チームメンバーが自己紹介し、町が抱える課題に対する思いを共有した。また、これまでの安江先生の取り組まれた事業をご紹介いただいた。安江先生はこれまで医療Maasの発案を始め数々の地域課題を解決する施策を経験しておられ、同じ自治体職員として大変感銘を受けた。ICT技術への造詣が深く先進的な取り組みをされているが、発端は地域の困りごとの解決ということが私たちの思いと共通するところであり、今後も有意義な助言をいただけると期待できたため。
アドバイザーへの要望事項	高齢者のICTスキルの効率的な普及に係り、高齢者にもICTを利用しようと思えるメリットや仕掛けづくりについて具体的に深めていきたいので助言をいただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年1月24日	支援・助言	無	開始時刻	終了時刻
				15時00分	17時00分
				活動時間（分）	120

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	---------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	高齢者に係る課題をテーマごとに分類し、各課横断的にチームを作り、検討を進めている。当該派遣事業は、高齢者のICT利活用という課題について検討を進めたいが、高齢者への効果的なスキル向上、普及方法が分からない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	現状把握を通じて整理した内容を踏まえながら、中・長期的に何を実現したいか、目標設定を行う設定した目標に基づいて、今後どのような形で施策を推進していくのか、方向性を決定する	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	当町の概要や派遣依頼に至った経緯、町の課題等をご紹介した後、チームメンバーが自己紹介し、町が抱える課題に対する思いを伝え、山都町の現状をご理解いただいた。また、これまでの安江先生の取り組まれた事業をご紹介いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今まで縦割りの仕組みの中で仕事をしていたが、チームメンバーのそれぞれの業務をお互いが少しずつ理解することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的な検討は2回目以降となるため、高齢者へのICT利活用を進めることで地域課題を解決したいが、効果的な普及方法について検討を進めていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援内容が「高齢者へのICT利活用を進めるための効果的な普及方法」であり、アンケートを必要としないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今年度中に、各課題ごとに現状把握を通じて整理した内容を踏まえながら、中・長期的に何を実現したいかの方向・目標設定を行い、関係課が横断的に連携し、今後の取組の進め方についての共通認識を醸成する。(予算は伴わない)今後の方向性・取り組みは各課題毎に異なる為、具体的な方針は新年度以降各課題毎に決定する予定。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

